

## 明法中・高：心臓外科医講師、手術の体験授業 /東京

毎日新聞 2015年10月29日 地方版

明法中学・高等学校（東村山市富士見町2）で28日、心臓外科医による心臓手術の体験授業が行われた。同校が昨年設立した4時間連続の科目横断的授業「GE講座」の一環。講師は同校卒業生で昭和大学医学部教授の南淵明宏さんが務めた。

授業を受けたのは中学2年生12人。ヒトの心臓と同じ大きさで構造を持つブタの心臓と、心臓外科医が使う本物の器具1セットが一人一人に配られ、解剖と縫合実習に取り組んだ。

「今日の体験が何かの火種となって、生徒たちの中に残ってくれるとうれしい」と南淵さん。僧帽弁に人工弁を無事縫い付け終わった中田晃貴君は「最初は触るのがいやだなと思いましたが、だんだん楽しくなりました」と話していた。【井上志津】

【毎日新聞ニュースサイトのトップページへ】



ブタの心臓を使った手術実習を指導する南淵さん

拡大写真